

森林セラピー通信  
森のたより

森林セラピーガイド養成講座

3月10日、11日の2日間、「森林セラピーガイド養成講座」を開催し、19歳から53歳までの男女計11名が、受講しました。



AEDの使用方法を勉強



スノーシューをはいて森の中へ

春が旬の山菜たち

森林セラピー博学講座

やつと雪も解け暖かくなってきたのに、なぜか体がだるい。そんな人も多い初春。これは冬の間に体に溜まった老廃物や脂肪のせいかも……。昔から「春には苦味を盛れ」といわれているように、この体の不調を整えるのが山菜です。セラピーロードにも、ふきのとう、たらのめ、こごみ、コシアブラの

町の歴史や文化、自然、森林セラピーの沿革などの座学のほか、実地訓練として、もりのす周辺のまだ雪のあるセラピーロードをスノーシューをつけて歩き、危険回避の方法や救急救命法を学びました。  
春を迎え、森の緑もきれいな季節です。森林セラピーガイドとなった皆さんの活躍が楽しみです。

新芽など、特有の香りや苦味の強い山菜が顔を出します。これらには、抗酸化力の強いポリフェノール群が多く含まれ、老廃物や脂肪を排出してくれます。  
冬眠から目覚めた熊は、最初に「ふきのとう」を食べるといわれています。さすが、熊さん。自分で体調管理ができていますね。

短歌

頓原公民館短歌教室 三月詠草

- 老木と言うには若き寒紅梅ひらき初めたり凛と立つべく 藤原 正
- 春待てど叶わぬことよ雪の山花待つ桜氷花を魅する 岡田 繁富
- 目標の百花繚乱なしとげぬ日本選手の「金・銀・銅花」 片岡 千鳥
- 新入幕の阿炎阿修羅の如く燃えしかと若き力士の肉が波打つ 千葉トミエ
- 細き身に日本をせ負い羽生ゆづる強く激しく魂を舞う 景山サチ子
- 門道の除雪の残る花壇にも雑草芽生え元気をもらおう 三上 朋子
- 朝な朝な「血圧のタイム」老い夫と数値を覗き「喜」憂す 熊谷 允子
- 家々の灯りも見えぬ雪の壁今宵も積もるか灯りの恋し 景山 牧栄
- 残雪の光る山々遠くして雪の川辺に鴨は春待つ 本間 啓美
- 凍てし日に逝きたる山羊は足そろえ十三年を謝すごとと眠る 石川 隆
- 平昌の熱気溢れる声も消え凍てつく夜が帰つてくるまた 安部 徳則
- バレンタインに孫より貰うチョコと服妻と味わい良く似合うわね 山本 正敏

〈第1回〉

平成30年7月 大しめ縄かけ替え



飯南町注連縄企業組合では、昭和30年代より出雲大社神楽殿の大しめ縄を制作しています。今年は7本目のかけ替えとなります。

気になる大しめ縄の制作行程を、3回に分けて紹介します。

■問合せ  
国道54号活性化アクションプラン推進協議会（い〜にやん人つなぎ協議会）  
電話76・2864（地域振興課）

はじめに

出雲大社神楽殿の大しめ縄は、長さ13.5m・重さ4.5tを誇ります。昭和56年、現在の神楽殿が竣工し、その大きさに合わせた結果、日本最大級となりました。以降、稲佐の浜からの潮風や雨風による傷み具合に合わせて、数年ごとに新調かけ替えが行われています。

全ての行程で使用使用する稲ワラの量は1.5ha分です。

行程① 吊り木の伐採・搬出

町内産のヒノキを伐採し、傷つけないよう輸送します。4.5tに耐える元口65cm以上かつ高さ20m以上の真っ直ぐ成長した木でなければいけません。また、搬出時短く切り分けることができないため、倒す角度や伐採する木の選定は容易ではないとのこと。

行程② 中芯づくり

大しめ縄の大元となる中芯は、コシヒカリのハデ干しワラとしめ縄専用ワラを使って、長さ16m・最大直径1.5mを2本作成します。

行程③ 菰(こも)編みと菰つなぎ

中芯を巻く外側の菰を作るために葉を束ねます(菰編み)。そして先代より継承する独自の技術で、編み込んでいきます(菰つなぎ)。

次号につづく!



やすらかに

3月届出分

- | お名前          | 親族 | 地区     |
|--------------|----|--------|
| 安部 浩様 (80)   | 賢  | 野 鶯    |
| 鹿田 恒代様 (92)  | 明  | 浩川 西   |
| 中村 信正様 (96)  | 裕  | 子(下赤色) |
| 山本 タツミ様 (87) | 弘  | 和(真木)  |
| 那須 進様 (87)   | 彰  | (川 東)  |
| 木村 正法様 (97)  | 毅  | (下赤色)  |
| 笠岡 光様 (84)   | 伸  | 次(谷)   |
| 金築 喜代恵様 (84) | 久  | 之(小 田) |
| 和田 ヤスコ様 (86) | 茂  | 幸(真 木) |
| 立脇 豊様 (89)   | 康  | 雄(角 井) |

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

どうしたの？  
だいじょうぶ？  
きいてくれるだけで  
うれしいよ

みしま はるの  
頓原小2年 三嶋 遥乃さん  
けいこ  
家族名 三嶋 圭子さん

標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

4月から青色のバスが町内を走っています。3月31日、88年の歴史に幕を閉じた三江線。その代替交通の一つとして、JR西日本からの負担金を財源に購入した車輛です。  
4月12日は、恒例の赤名小学校交通安全パレード。大きなバスに大興奮の新1年生のみんなと二緒に一枚。



広報いーなん3月号の一部記載に誤りがありました。謹んでお詫びし、訂正いたします。  
12ページ:平成30年度主な年間行事の紹介 正:7月7日(土)半夏まつり 誤:7月1日(日)半夏まつり